

～消防本部からのお知らせ～

# 在宅酸素療法時の火気取扱いに注意

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、在宅酸素療法に使用する酸素濃縮装置、液化酸素装置及び酸素ポンペ（以下「酸素濃縮装置等」という。）の使用における喫煙等火気使用からの火災発生が懸念されます。

在宅酸素療法を行う際は、酸素吸入時の火気の手扱いについて、以下の事項に十分注意してください。

## 在宅酸素療法時、火災予防3つのポイント

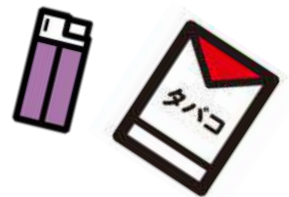
①酸素吸入中に、たばこ等の火気を近づけない。

**火気厳禁**

②酸素濃縮装置等の使用中は、装置の周囲2m以内には、火気を置かない。

③酸素吸入中には、たばこを吸わない。

**禁煙**



酸素には、燃焼を助ける性質があり、火を近づけると大変危険です。装置のチューブや衣服等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となります。

新型コロナウイルス感染拡大から、在宅酸素療法が必要となる方の増加が考えられます。火災予防3つのポイントを守り、火事をゼツタイに起こさないようにしましょう。

火災予防PRキャラクター  
「かさいしょうかちゃん」



志賀町 ころ柿(帽子)

羽咋市 UFO (ポシェット)

宝達志水町 オムライス (ワンピース)